



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社
コード番号 4559 URL <http://www.zeria.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO

(氏名) 伊部 充弘

問合せ先責任者 (役職名) 広報部長

(氏名) 菅原 真也

TEL 03-3661-1039

四半期報告書提出予定日 平成28年11月8日

配当支払開始予定日

平成28年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	32,313	6.5	3,148	48.9	3,083	94.6	2,006	24.1
28年3月期第2四半期	30,343	0.7	2,114	△7.2	1,584	△29.3	1,616	△23.6

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △2,441百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 1,338百万円 (3.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	37.78	—
28年3月期第2四半期	30.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	112,230	60,227	53.6	1,131.51
28年3月期	119,178	64,067	53.5	1,199.94

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 60,100百万円 28年3月期 63,734百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	16.00	31.00
29年3月期	—	16.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,000	5.6	4,800	5.1	4,600	3.4	3,600	2.5	67.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	53,119,190 株	28年3月期	53,119,190 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	4,007 株	28年3月期	3,871 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	53,115,278 株	28年3月期2Q	53,115,809 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(企業結合等関係)	13
5. 補足情報	14
(1) 販売実績	14
(2) 主要製商品売上高 連結	15
(3) 新薬パイプラインの状況	16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和策を背景に全体としては引き続き緩やかな回復基調を辿りましたが、英国のEU離脱問題など海外経済の不確実性の高まりと円高の進行により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

医薬品業界におきましては、医療用医薬品は、今年4月に薬価改定が行われるとともに、医療費抑制策の一環として後発医薬品の使用が引き続き強力に推進されており、またOTC医薬品市場におきましても市場競争の激化が続いており、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、323億13百万円（前年同四半期比6.5%増）となりました。一方、利益につきましては、営業利益31億48百万円（前年同四半期比48.9%増）、経常利益30億83百万円（前年同四半期比94.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益20億6百万円（前年同四半期比24.1%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

①医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール®」は、海外において引き続き堅調に推移いたしました。国内においては今年4月の薬価改定や後発医薬品の影響を受け苦戦いたしました。一方、機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド®」につきましては、市場構築が計画対比遅れる状況となっておりますが、医療機関における疾患及び治療法などの認知度を高めることにより進展を図っております。また、当社の100%子会社であるTillotts Pharma AGが昨年7月に、AstraZenecaより米国を除く全世界における権利を取得した炎症性腸疾患（IBD）治療剤「Entocort®」（一般名：ブデソニド）につきましては、順調に推移しており、売上・利益に貢献いたしました。なお、日本においてはクローン病治療剤「ゼンタコート®カプセル 3mg」として、今年9月に製造販売承認を取得し、発売に向けた準備を進めております。

これらの結果、当事業の売上高は、177億83百万円（前年同四半期比7.1%増）となりました。

②コンシューマーヘルスケア事業

主力製品群である「ヘパリーゼ®群」につきましては、テレビCMなどの広告宣伝活動を積極的に展開し、製品認知度の向上に努めた結果、引き続き売上高を拡大いたしました。なかでも、今年3月に発売したコンビニエンスストア向けの新製品「ヘパリーゼ®Wプレミアム」が売上に大きく寄与しております。また、「ヘパリーゼ®群」の製品ラインアップ強化として、今年10月発売のドラッグストア向けミニドリンク剤「ヘパリーゼ®キングプラス」（第2類医薬品）及び「ヘパリーゼ®キングEX」（第2類医薬品）の出荷を9月より開始いたしました。なお、「コンドロイチン群」につきましては、医薬品としての有効性、安全性、高品質を訴求し、健康食品との違いを明確にした販売活動を行った結果、引き続き圧倒的な市場シェアを堅持いたしました。さらに、「ウィズワン®」シリーズのラインアップ強化のため、今年9月より坐薬タイプの便秘薬「ウィズワン®坐剤」（第3類医薬品）を全国の薬局・ドラッグストア向けに発売いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は、144億59百万円（前年同四半期比5.9%増）となりました。

③その他

保険代理業・不動産賃貸収入などにより、当事業の売上高は、69百万円（前年同四半期比11.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は1,122億30百万円となり、前連結会計年度末対比69億47百万円の減少となりました。その内訳は流動資産が362億23百万円で、前連結会計年度末対比34億71百万円の減少、固定資産が760億6百万円で、前連結会計年度末対比34億75百万円の減少となっております。流動資産の増減の主なものは、現金及び預金の減少31億81百万円、未収入金の減少等流動資産のその他の減少2億88百万円であります。また、固定資産の増減の主なものは、無形固定資産の減少29億41百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は520億3百万円となり、前連結会計年度末対比31億7百万円の減少となりました。その内訳は流動負債が460億円で、前連結会計年度末対比22億45百万円の減少、固定負債が60億2百万円で、前連結会計年度末対比8億62百万円の減少となっております。流動負債の増減の主なものは、支払手形及び買掛金の増加1億81百万円、短期借入金の減少23億36百万円、賞与引当金の減少2億50百万円であります。また、固定負債の増減の主なものは、長期借入金の減少11億59百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は602億27百万円となり、前連結会計年度末対比38億40百万円の減少となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上20億6百万円、前期末配当の実施8億49百万円、その他有価証券評価差額金の減少7億22百万円、為替換算調整勘定の減少35億57百万円等によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.1%上昇し、53.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、期首残高対比31億81百万円減少し、90億29百万円となりました。これは、主に営業活動によるキャッシュ・フローが41億46百万円のプラスであったものの、投資活動によるキャッシュ・フローが35億59百万円、財務活動によるキャッシュ・フローが25億19百万円のマイナスであったためであります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間は41億46百万円の資金の増加となりました（前年同四半期比41億5百万円増）。これは、税金等調整前四半期純利益の計上32億97百万円、減価償却費の計上15億82百万円、のれん償却額の計上3億47百万円、賞与引当金の減少2億12百万円、退職給付に係る負債の増加1億90百万円、投資有価証券売却益の計上2億16百万円、売上債権の増加5億48百万円、たな卸資産の増加3億69百万円、仕入債務の増加2億61百万円、その他の流動負債の増加2億46百万円、法人税等の支払3億72百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間は35億59百万円の資金の減少となりました（前年同四半期比244億85百万円増）。これは、有形固定資産の取得による支出11億84百万円、無形固定資産の取得による支出21億61百万円、投資有価証券の取得による支出17億37百万円、投資有価証券の売却による収入15億19百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間は25億19百万円の資金の減少となりました（前年同四半期比227億52百万円減）。これは、短期借入金の増加52億29百万円、長期借入金の返済による支出63億9百万円、配当金の支払8億46百万円、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出5億80百万円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、当初の予想を上回る結果となりました。

なお、平成29年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました通期連結業績予想から変更しておりません。詳細は平成28年10月31日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

（4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,343,105	9,161,651
受取手形及び売掛金	14,763,825	14,686,794
商品及び製品	4,427,476	4,395,525
仕掛品	960,579	903,028
原材料及び貯蔵品	2,625,253	2,763,356
その他	4,614,367	4,325,915
貸倒引当金	△39,124	△12,774
流動資産合計	39,695,484	36,223,498
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	8,143,989	8,140,102
土地	11,671,796	11,693,573
その他（純額）	3,458,311	3,672,746
有形固定資産合計	23,274,098	23,506,421
無形固定資産		
のれん	10,137,642	9,347,582
販売権	18,369,598	17,108,878
その他	7,276,312	6,385,094
無形固定資産合計	35,783,554	32,841,554
投資その他の資産		
投資有価証券	12,471,889	11,801,011
退職給付に係る資産	7,113,185	7,126,802
その他	883,600	773,350
貸倒引当金	△43,743	△42,221
投資その他の資産合計	20,424,930	19,658,943
固定資産合計	79,482,583	76,006,919
資産合計	119,178,067	112,230,418
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,041,072	2,222,948
短期借入金	39,037,951	36,701,586
未払法人税等	479,890	539,522
賞与引当金	1,243,645	993,019
返品調整引当金	58,381	62,630
売上割戻引当金	130,754	127,877
その他	5,253,905	5,352,604
流動負債合計	48,245,601	46,000,190
固定負債		
長期借入金	4,653,950	3,494,050
退職給付に係る負債	643,704	1,066,188
資産除去債務	75,072	75,424
その他	1,492,299	1,367,201
固定負債合計	6,865,025	6,002,864
負債合計	55,110,627	52,003,054

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	12,055,881	11,685,121
利益剰余金	37,810,215	38,967,215
自己株式	△4,736	△4,946
株主資本合計	56,454,759	57,240,789
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	879,226	156,835
為替換算調整勘定	4,212,812	655,712
退職給付に係る調整累計額	2,188,163	2,047,187
その他の包括利益累計額合計	7,280,202	2,859,735
非支配株主持分	332,478	126,839
純資産合計	64,067,440	60,227,364
負債純資産合計	119,178,067	112,230,418

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	30,343,708	32,313,608
売上原価	8,914,957	8,862,561
売上総利益	21,428,750	23,451,046
返品調整引当金戻入額	62,381	58,381
返品調整引当金繰入額	65,237	62,630
差引売上総利益	21,425,894	23,446,797
販売費及び一般管理費	19,311,519	20,298,136
営業利益	2,114,374	3,148,661
営業外収益		
受取利息	12,795	2,010
受取配当金	147,515	151,748
その他	48,691	80,890
営業外収益合計	209,003	234,649
営業外費用		
支払利息	125,203	138,313
為替差損	595,526	106,962
その他	18,346	54,577
営業外費用合計	739,076	299,853
経常利益	1,584,301	3,083,458
特別利益		
固定資産売却益	307	—
投資有価証券売却益	1,027,033	216,435
特別利益合計	1,027,341	216,435
特別損失		
固定資産除却損	6,368	2,161
固定資産解体費用	4,212	—
特別損失合計	10,580	2,161
税金等調整前四半期純利益	2,601,062	3,297,731
法人税等	984,241	1,269,143
四半期純利益	1,616,820	2,028,588
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	21,743
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,616,820	2,006,844

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	1,616,820	2,028,588
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△960,355	△722,390
為替換算調整勘定	576,295	△3,606,633
退職給付に係る調整額	105,728	△140,976
その他の包括利益合計	△278,331	△4,470,000
四半期包括利益	1,338,489	△2,441,411
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,338,489	△2,413,621
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△27,789

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,601,062	3,297,731
減価償却費	856,540	1,582,021
のれん償却額	334,710	347,582
賞与引当金の増減額(△は減少)	△140,588	△212,103
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	59,376	190,543
受取利息及び受取配当金	△160,311	△153,759
支払利息	125,203	138,313
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,027,033	△216,435
売上債権の増減額(△は増加)	158,868	△548,653
たな卸資産の増減額(△は増加)	161,096	△369,077
仕入債務の増減額(△は減少)	△93,443	261,922
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△662,839	△46,384
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△783,946	246,432
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△268,889	13,477
その他	△5,674	△26,434
小計	1,154,131	4,505,177
利息及び配当金の受取額	160,280	153,786
利息の支払額	△90,242	△139,897
法人税等の支払額	△1,182,865	△372,517
営業活動によるキャッシュ・フロー	41,303	4,146,549
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,189,108	△1,184,056
無形固定資産の取得による支出	△25,609,259	△2,161,838
投資有価証券の取得による支出	△2,803,728	△1,737,947
投資有価証券の売却による収入	2,690,047	1,519,292
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,077,109	—
その他	△55,998	5,154
投資活動によるキャッシュ・フロー	△28,045,156	△3,559,396
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	22,361,943	5,229,432
長期借入金の返済による支出	△1,336,286	△6,309,900
自己株式の取得による支出	△283	△214
配当金の支払額	△792,735	△846,427
非支配株主への配当金の支払額	—	△12,113
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△580,608
財務活動によるキャッシュ・フロー	20,232,638	△2,519,831
現金及び現金同等物に係る換算差額	△946,754	△1,248,775
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,717,967	△3,181,453
現金及び現金同等物の期首残高	17,880,378	12,210,988
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,162,411	9,029,534

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,606,665	13,658,233	30,264,899	78,809	30,343,708	—	30,343,708
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	86	86	254,758	254,845	△254,845	—
計	16,606,665	13,658,320	30,264,985	333,568	30,598,553	△254,845	30,343,708
セグメント利益	1,640,723	3,004,635	4,645,358	118,337	4,763,696	△2,649,321	2,114,374

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,649,321千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 当第2四半期連結会計期間において、前連結会計年度の末日と比べ、報告セグメントの資産の金額は、「医療用医薬品事業」セグメントにおいて増加しております。これは主に、Tillotts Pharma AGがAstraZenecaが販売している炎症性腸疾患（IBD）治療剤「Entocort」（一般名：ブデソニド）の米国を除く全世界における権利を取得したことにより、無形固定資産が24,875,209千円増加したことによるものであります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	17,783,972	14,459,993	32,243,965	69,642	32,313,608	—	32,313,608
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	83	83	278,672	278,755	△278,755	—
計	17,783,972	14,460,076	32,244,049	348,314	32,592,364	△278,755	32,313,608
セグメント利益	1,970,743	3,736,620	5,707,363	119,047	5,826,411	△2,677,749	3,148,661

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,677,749千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より連結子会社となったPharmaceutical Joint Stock Company of February 3rdは、従来「コンシューマーヘルスケア事業」に含めておりましたが、同社の今後の事業拡大を見込んだ管理体制の強化に伴い、詳細な製品情報を基に売上管理区分の見直しを行ったことにより、第1四半期連結会計期間より同社の業績を「医療用医薬品事業」及び「コンシューマーヘルスケア事業」の報告セグメントに区分する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、同社の損益を前第3四半期連結会計期間より連結しているため、上記の変更に伴う影響はありません。

（企業結合等関係）

共通支配下の取引等

（子会社株式の追加取得）

1. 取引の概要

（1）結合当事企業の名称及びその事業の内容

結合当事企業の名称	Pharmaceutical Joint Stock Company of February 3rd
事業の内容	医薬品製造販売業、健康食品製造販売業、他

（2）企業結合日

平成28年9月20日（みなし取得日は平成28年6月30日としております。）

（3）企業結合の法的形式

非支配株主からの株式取得

（4）結合後企業の名称

変更ありません。

（5）その他取引の概要に関する事項

追加取得した株式の議決権比率は28.89%であります。当該追加取得は、当社グループのアジア地域における迅速かつ効率的な事業運営を行うことを目的としております。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成25年9月13日）に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として処理しております。

3. 子会社株式の追加取得に関する事項

取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金を対価とする取得	580,608千円
取得原価		580,608千円

5. 補足情報

(1) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	17,783,972	7.1
コンシューマーヘルスケア事業	14,459,993	5.9
報告セグメント計	32,243,965	6.5
その他	69,642	△11.6
合 計	32,313,608	6.5

(注) 1.セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2.金額は消費税等抜きで表示しております。

(2) 主要製商品売上高 連結

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	増減(△)率(%)
1. 医療用医薬品事業	16,606,665	17,783,972	7.1
アサコール*	9,424,173	8,802,461	△6.6
エントコート*	—	2,448,757	—
プロマック*	1,826,732	1,352,937	△25.9
アシノン*	1,567,722	1,165,456	△25.7
その他	3,788,036	4,014,360	6.0
2. コンシューマーヘルスケア事業	13,658,233	14,459,993	5.9
ヘパリーゼ*群	4,867,955	5,669,936	16.5
コンドロイチン群	3,596,770	3,617,027	0.6
ウィズワン*群	765,303	785,773	2.7
その他	4,428,205	4,387,254	△0.9
3. その他の事業	78,809	69,642	△11.6
合 計	30,343,708	32,313,608	6.5

(3) 新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

1) 消化器系分野

(平成28年11月4日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
承認	ブデソニド (製品名:ゼンタコート®)	アストラゼネカ	クローン病	糖質コルチコイド	導入品
承認申請中	Z-206/メサラジン (アサコール®用法・用量追加)	ゼリア (協和発酵キリン との共同開発)	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズII (アジア共同治験)	Z-360	ゼリア	膵臓癌	ガストリンCCK ₂ 受容体拮抗作用	自社品
フェーズII	Z-215	ゼリア	酸分泌関連疾患	長時間作用型 プロトンポンプ阻害剤	導入品

2) その他の分野

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
フェーズIII (アジア共同治験)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズIII	Z-213/ Ferric carboxymaltose	ゼリア	鉄欠乏性貧血	静注鉄剤	導入品

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	起源
承認申請中 (中国)	Z-206/メサラジン	ゼリア・Tillotts Pharmaの共同開発	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出調整製剤	自社(Gr)品
フェーズIII (欧州)	Z-338/アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズIII (アジア)	Z-100	ゼリア	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズIII (欧州・カナダ)	TP05/メサラジン	Tillotts Pharma	潰瘍性大腸炎	OPTICORE DDS技術	自社(Gr)品
フェーズIII (欧州・米国)	TP09/ CPP-1X・スリンダク	Tillotts Pharma (Cancer Prevention Pharmaceuticals との共同開発)	家族性大腸腺腫症	ポリアミン生合成抑制	導入品
フェーズII終了 (北米)	Z-338/アコチアミド	ゼリア	機能性ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズII (アジア)	Z-360	ゼリア	膵臓癌	ガストリンCCK ₂ 受容体拮抗作用	自社品

自社(Gr)品: 自社グループオリジナル品